

本検討会の進め方について

車椅子使用者用駐車施設等のあり方に関する検討について

検討趣旨

- 車椅子使用者用駐車施設等は、共生社会における移動環境を確保するための基本的なインフラの一つであり、ハード・ソフト両面から今後の対策のあり方について検討することが求められている。
- これまでもバリアフリー法や地方公共団体における独自の取組（パーキング・パーミット制度）等により、駐車区画の整備や適正利用の推進がなされてきたところではあるが、現状の取組を検証し、今後の対策のあり方について検討を行うことを目的として、「車椅子使用者用駐車施設等のあり方についての検討会」を設置する。

検討体制

検討会の構成

- 学識経験者、障害者団体、事業者団体、駐車場関係団体、地方公共団体等（委員長：高橋名誉教授（東洋大））
- 国土交通省（総合政策局、住宅局、都市局、道路局等）、関係省庁

スケジュール

- 令和3年度に検討会を立ち上げ、検討会においてハード整備、ソフト対策についてそれぞれ検討・整理を行い、関係者で連携しながら年度内に今後の方向性をとりまとめる予定。
- 令和4年度（可能なものは令和3年度）以降、具体的な施策を推進

時期	全体会合	ハード整備の検討スケジュール	ソフト対策の検討スケジュール
令和3年度	第1回【今回】	第1回【今回】 ◆ 現状の課題整理と検討の方向性（案）	第1回【今回】 ◆ 現状の課題整理と検討の方向性（案）
		⇒車椅子使用者用駐車施設の高さ等に関する実態調査	⇒地方公共団体・当事者・施設設置管理者等への実態調査
	第2回【令和3年10月頃】	第2回 ◆ 実態調査結果の報告、施策推進の方向性（案）	第2回 ◆ 実態調査結果の報告、施策推進の方向性（案）
	第3回【令和3年12月頃】 ◆ 中間整理	第3回 ◆ 今後の整備方針について	第3回 ◆ 適正利用の取組方針について
令和4年度	●具体的な施策立案／ガイドライン改正等（必要に応じて引き続き検討会の開催等）		

検討会構成メンバー

学 識 経 験 者 等

座長 高橋 儀平 東洋大学 名誉教授
 秋山 哲男 中央大学研究開発機構 教授
 大沢 昌玄 日本大学理工学部土木工学科 教授

障 害 者 団 体

(社福) 日本身体障害者団体連合会
 (公社) 全国脊髄損傷者連合会
 (特非) DPI日本会議

事 業 者 団 体

(一社) 日本ショッピングセンター協会
 日本チェーンストア協会
 (一社) 不動産協会
 (一社) 日本ビルディング協会連合会

駐 車 場 関 係 団 体

(一社) 全日本駐車協会
 (公社) 立体駐車場工業会
 (一社) 日本自走式駐車場工業会
 (一社) 日本パーキングビジネス協会

地 方 公 共 団 体 等

東京都
 佐賀県
 日本建築行政会議

関係省庁等(オブザーバー)

厚生労働省社会・援護局
 経済産業省商務情報政策局
 国土交通省大臣官房官庁営繕部
 国土交通省航空局
 国土技術政策総合研究所

事 務 局 (国 土 交 通 省)

総合政策局
 都市局
 住宅局
 道路局

※今後、議論の方向性により、関係者の追加、又は個別ヒアリング等による対応を予定。